

里山美術展



肥後民家村



1



2



4



3

毎

年五月の連休に開催される「里山美術展」は、今年で八回目の開催になります。この里山美術展では、町内はもとより町外からも多くの芸術家や美術家の人達が、肥後民家村の古民家と豊かな自然に作品を飾り、肥後民家村全体がひとつの美術館となります。

このように肥後民家村では、施設を活用した様々なイベントが行われており、町では、それらの団体などに古民家や野外ステージの貸し出しを行っています。

今回は、里山美術展を主催されている里山楽縁企画の西丸副代表にお話を伺いました。

「里山楽縁企画の池田代表（玉東町在住）とは、高校の時の同級生であり、その縁もあって、今は一緒に里山楽縁企画で活動をしています。肥後民家村にある国指定史跡旧境家住宅は、玉東町から移築復元された古民家です。池田代表の奥さんは、その理由もあって旧境家住宅で染物展などを開催し、共に肥後民家村の魅力にひかれていったのではないのでしょうか。そのようにして始まった里山美術展も肥後民家村の五月の連休イベントとして定着し、県内外から四、五千人の人たちが訪れ賑っています。江

里山楽縁企画

副代表 西丸康一さん





5

写真の紹介

1工夫した飾り付けが至る所にあります、2野外ステージ前の流木アート、3古代米を使った炊飯体験、4縄文土器づくり体験、5自宅のビニールハウスでは栽培教室もされている西丸さん、6イエロービクトリア、7原種シクラメン(パーツカム)



7



6

田船山古墳、肥後民家村で開催する美術展を通じて、古代、中世、そして現代の雰囲気を感じていただければと思います。もちろん、私たちも楽しませてもらうています」

西丸さんは、里山美術展では草花など、鉢植えの展示、販売をされます。西丸さんの本業は、県内でも数少ないシクラメン栽培農家です。シクラメンの栽培を気軽に楽しんでもらおうと自宅のビニールハウスでは、栽培教室を開講されています。種まきからはじめ、一年間かけて植え替えなどの手入れをして、十二月に咲かせる「栽培コース」、二年間かけて好みの品種を作る「育種コース」があります。

「肥後民家村では、田舎の生活観を体感することができます。さらに、古民家で田舎のおばあちゃんがおもてなしをしていただけ受入れ体制ができればいいですね。里山美術展では、来ていただいた人達に肥後民家村の良さを知っていただければと思います。また、町内の各地域では、私も含めて農業体験などの受け入れをしている人たちがいます。各地域での体験を通じて『地域のおもてなし』も体感してください」

今年の里山美術展は、五月一日から五日までの五日間、肥後民家村一帯で開催されます。是非、お出かけください。

里山美術展

とき 平成22年5月1日(土)～5月5日(水)
ところ 肥後民家村一帯

問い合わせ先

☎090・3734・5970 里山楽縁企画
副代表 西丸まで